
博報堂教育財団 教職育成奨学金事業

2025年度活動紹介

2025/4～2026/3

博報堂教育財団「教職育成奨学金」制度概要

1. 制度の趣旨

- ① 児童教育、国語教育の教員を目指す学生を対象とした奨学金給付制度。
- ② 児童教育を支える未来の優秀な教育指導者を育成し、子どもたちの未来に貢献する。
- ③ 全国に広がる奨学生及び卒業生の輪が、教育現場での〈学び合い、支え合いのネットワーク〉となり、教育の質の向上や教育現場の活性化に寄与することを目指す。

2. 制度の特長

- ① 教職志望者に対象を絞った完全給付型奨学金。
- ② 学費をほぼ全額カバーする奨学金を給付し、学業や教員となるための活動に専念できる環境を提供する。
- ③ 教育財団としてのノウハウやファシリティを活用し、特色ある研修プログラムを提供する。
- ④ 海外短期留学の支援により、海外での経験を積む機会を提供する。
- ⑤ 奨学生及び卒業生の交流を促進し全国の教育現場での〈学び合い、支え合いのネットワーク〉形成を目指す。

3. 奨学金給付対象者

推薦依頼大学から、以下の教員を目指す学生について推薦を受け、選考委員会による選考を経て採用者を決定する。

- ① 小学校教員
- ② 特別支援学校教員
- ③ 中学校・高等学校の国語科教員

<2025年度推薦依頼大学(59大学)>

愛知教育大学／愛知淑徳大学／愛媛大学／茨城大学／宇都宮大学／大分大学／大阪大谷大学
大阪教育大学／岡山大学／香川大学／鹿児島大学／鎌倉女子大学／関西大学／関西学院大学
京都教育大学／岐阜聖徳学園大学／岐阜大学／熊本大学／群馬大学／慶応義塾大学／神戸大学
國學院大學／埼玉大学／静岡大学／淑徳大学／上越教育大学／信州大学／玉川大学／千葉大学
筑波大学／都留文科大学／帝京大学／東京学芸大学／東北福祉大学／東洋大学／同志社大学
長崎大学／奈良教育大学／鳴門教育大学／日本大学／兵庫教育大学／広島大学／福井大学
福岡教育大学／福島大学／佛教大学／文教大学／北海道教育大学／三重大学／宮城教育大学
宮崎大学／武庫川女子大学／明治大学／明星大学／山形大学／横浜国立大学／立命館大学
和歌山大学／早稲田大学

4. 奨学金給付内容

① 奨学金給付額

・授業料相当額

国立大学:年額**60**万円(月額5万円) 私立大学:年額**120**万円(月額10万円)

大学院生:年額**60**万円(月額5万円)

※大学院=大学院(修士課程)・教職大学院(大学院枠は、国立・私立ともに同額)

・自宅外生への特別支援費:年額**60**万円(月額5万円)

② 大学生への奨学金給付継続支援

学部で奨学生であった学生が、以下の条件を満たし、大学院(修士課程)/教職大学院への進学を希望する場合には、学生本人からの申請に基づき、当財団における審査を行った上で、給付期間を延長することがある。

1)奨学生の進学先が、学部と同じ大学の大学院(修士課程)・教職大学院である、

もしくは他の「推薦依頼大学」の大学院(修士課程)・教職大学院である。

2)進学の目的が小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを目指すためのものである。

5. 海外短期留学支援制度

将来、優れた教員になるための経験として役立つと思われる海外短期留学や海外研修等については、本人の申請と大学・大学院からの推薦により、当財団内で審査後、以下を給付する。

- 渡航費（アジア地域 **5万円**・その他地域 **10万円**/一律）
- 留学活動費（留学期間に応じて給付）

※累計で100万円を上限に、奨学期間中は回数制限を設けずに申請可能。

※1回の留学期間は365日を上限とする。

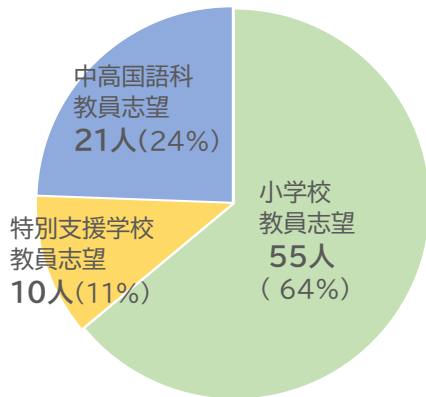
6. 奨学生育成支援プログラムの実施

- ① 奨学生間の相互交流の促進とネットワークづくりを目的に、当財団ならではの「学び」の場を提供する。
- ② 研修プログラム（新入奨学生研修、近況報告会、春の研修、等）を提供する。

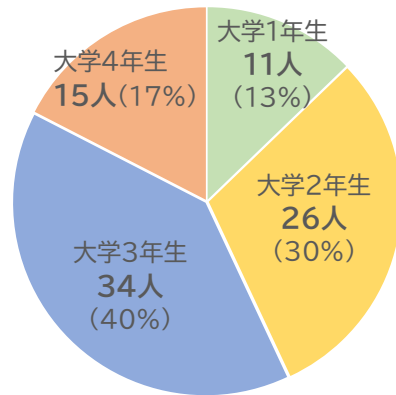
奨学生の内訳

■ 2025年度新入奨学生(第8期生/86名)の内訳

志望学校種別

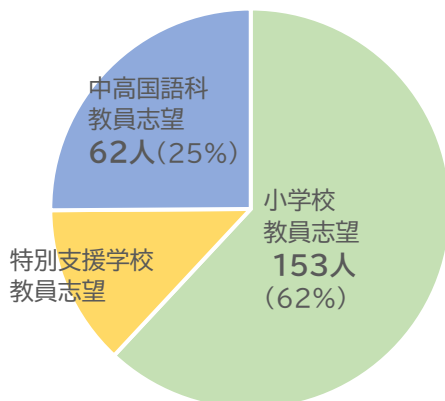


学年別

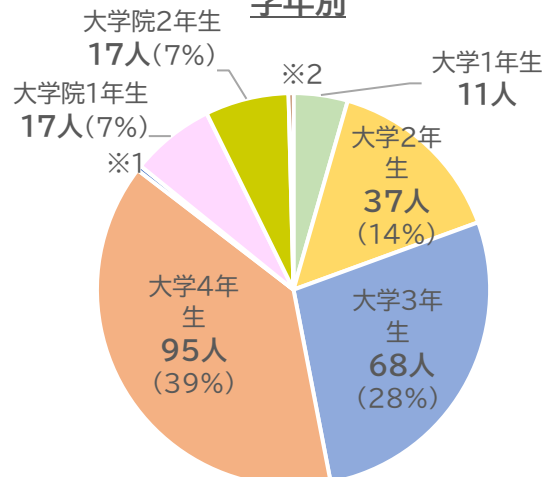


■ 2025年度在籍奨学生(247名)の内訳 (2026年3月時点)

志望学校種別



学年別

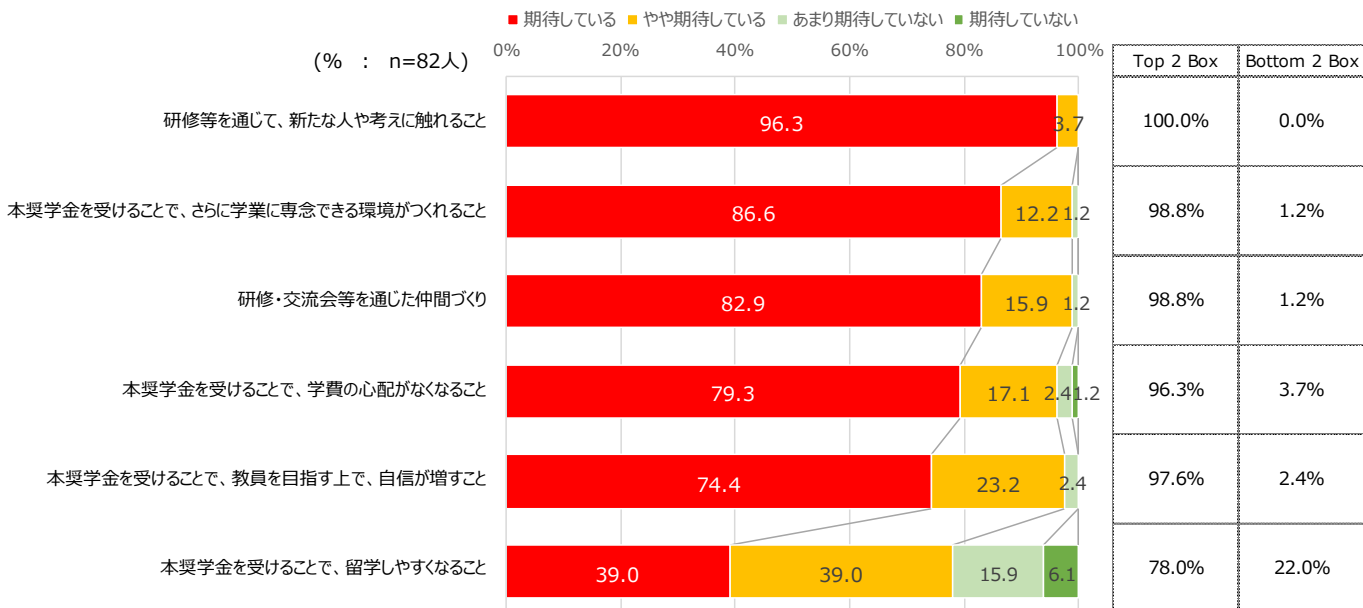


※1 大学5年生(夜間)1名、※2 大学院3年生 1名

奨学生が当財団に期待すること

【2025年度新入奨学生アンケートより】

- ①新たな人や考えに触れる ②学業に専念できる環境がつかれる ③仲間づくり の順で
いずれも「期待している(Top1)」が80%超



● 自己研鑽の機会

- ・ 考えや学びを深められる活動【小学校/4年】
- ・ 自己分析の機会【特支/2年】
- ・ 教員を目指す上での意識の向上【小学校/2年】
- ・ 自分の価値観や考え方を広げることが出来ること【小学校/3年】
- ・ 大学では学べない新しい学び【小学校/4年】
- ・ 学業に集中できる環境で、同じ志を持つ仲間と対話しながら成長していけることを期待しています。【特支/3年】
- ・ 大学での学びとは別の学びの場に参加できること【小学校/2年】
- ・ 社会を知らない教員といわれないために、企業などを知ったり社会とのつながりをもったりすること【小学校/4年】
- ・ 国語教育に関する知識、経験などを深められること。【中・高国語/2年】

● 情報交換・情報収集

- ・ 教育学部や教育大学に所属している方のお話を聞くことで、より深い知識や考え方を知りたい。【中・高国語/2年】
- ・ OBOGの方のお話が聞けることを楽しみにしています！【小学校/4年】
- ・ 実際教員の方の話を聞くことで教員採用試験のことを知ること。【特支/3年】
- ・ 先輩奨学生の方々と話す機会を得られること。【中・高国語/2年】
- ・ 現在教員になった、元奨学生の方々に、教員という仕事についてのリアルを聞けるということ。【中・高国語/2年】
- ・ 私は小学校の教員を目指しているが、国語の中高の教員を目指す方や特別支援学校を目指す方もいるため、それぞれの違った視点から学びが得られるような交流。【小学校/4年】

● 人との繋がり

- ・ 様々な人との交流ができる次の機会を楽しみにしています。よろしくお願いたします。【小学校/3年】
- ・ 同じ志を持つ人との出会い【小学校/1年】
- ・ さまざまな人たちと関わることによって喜びを感じている。教師になる上で相談できる相手や切磋琢磨できる仲間がいることは自信につながる。【小学校/2年】
- ・ 在学中から在学後も続くネットワークを作れること【小学校/3年】
- ・ 他校種との交流。【中・高国語/3年】

● 経済的・時間的恩恵

- ・ アルバイトをしなくて良くなるため、特支の経験を増やすために、ゼミ教授が行っている巡回相談や発達検査に多く参加できるようになること【特支/3年】
- ・ 金銭的な不安が減って学業に充実できること【中・高国語/3年】
- ・ 奨学金による金銭的余裕が生まれることで自分の勉強や将来のための教養を深める活動への選択肢が広がることを期待しています。【中・高国語/2年】
- ・ ボランティアや部活動などの活動をする時間を確保しやすくなる【小学校/3年】

● 大学院進学の後押し

- ・ 大学院進学について考える機会になること【特支/2年】
- ・ 大学院への進学【小学校/4年】

研修プログラムの紹介

【目的】

1)奨学生間の交流の促進

「教員になる」という同じ志を持ちながら、地域/大学/年次/志望校種の異なる奨学生同士の交流や成長を促すとともに、学び合い、支え合うネットワークへと育てていく。

2)当財団ならではの学びの場の提供

- ・大学教育とは異なる視点での「学び」を提供し、教育の質の向上や活性化に寄与する。
- ・普段接する機会の少ない「多様な分野の人や考え方」に触れることで視野を広げる。

3)若手教員のためのフォローアップ

奨学金受給修了後3年目までの修了生を対象に、教員として自信を持ち教育の現場で定着するよう、フォローアップ研修を提供する。

【研修の実施】

- ◆ 新入奨学生研修（新入奨学生が対象/1泊2日）
- ◆ 春の研修（全奨学生が対象/2泊3日）
- ◆ 修了生向けフォローアップ研修（教員1～3年目の修了生が対象/1泊2日）

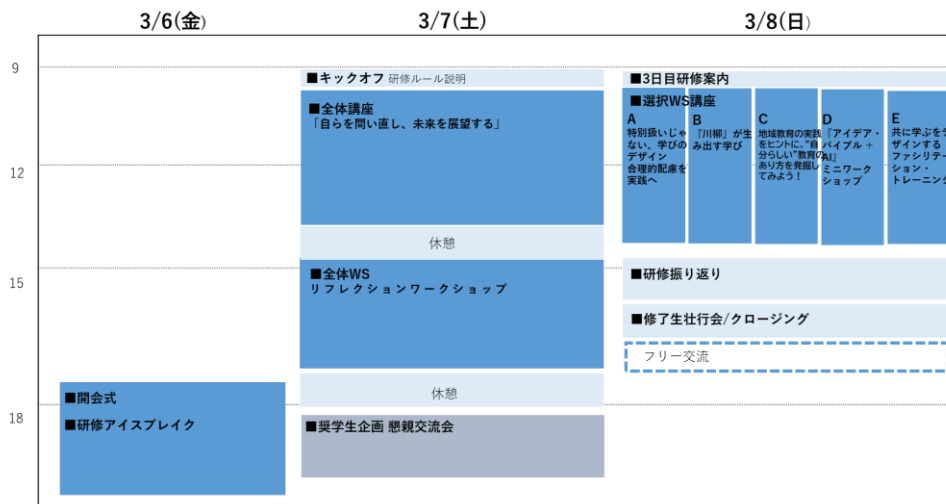
プログラム例（2025年度春の研修）

【実施概要】

2026年3月6日(金)、7日(土)、8日(日)、東京羽田にて開催
奨学生222名が参加

【プログラム】

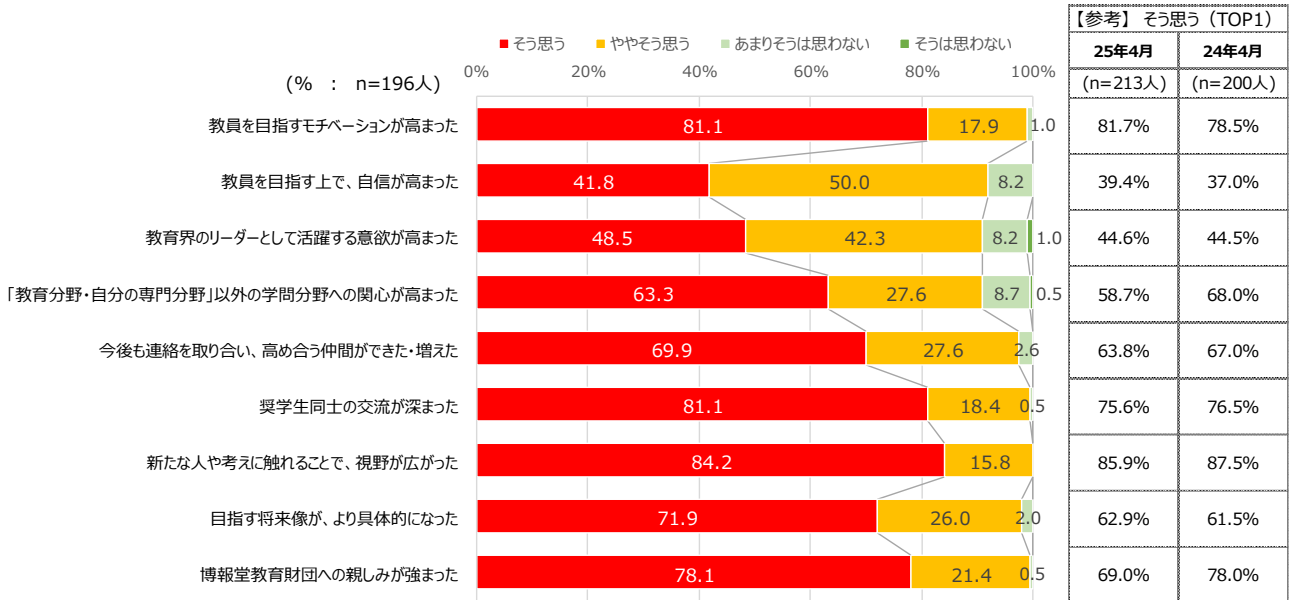
- 1日目： 開会式
研修アイスブレイク
- 2日目： キックオフ
全体講座
全体ワークショップ
懇親交流会
- 3日目： 選択ワークショップ講座(5講座から選択)
研修振り返り
修了生壮行会
クロージング





【研修参加による意識変化】

■ ①視野が広がった ②モチベーションが高まった ③奨学生同士の交流が深まったで「そう思う」が80%超



【春の研修で得た成果】

●「教育」「理想の教師像」の再確認と課題の把握

- 現在自分が理想としている教師像がより鮮明になり、これからどうしていくべきなのかが明確にすることができた【小学校/2年/女】
- 「学校になぜ登校するのか」という問いに、自分なりの答えを見い出せたことです。やりたいことがある学校、やりたいことが見つかる学校が、まさに、魅力ある学校だと思います。【小学校/3年/男】
- 目指す教師像がより深く具体的になったし、教師像(どんな教師になりたいか)だけでなく、どんな子どもたちを育てたいか、どんなことをしたいかについても自分の考えを自分で理解できたこと。【小学校/3年/女】
- これからの教育展望と私の目指す教員像の重なる点があることに気づき、希望と自信を持つことができたことだ。これからはそれに必要な力をつけていきたい。【小学校/4年/女】
- 自分自身の理想の教師像を裏付ける考え方や思想を深めることができた。【小学校/院1年/男】
- 私が見ているのは教育の一つの側面に過ぎないと気づき、今後も柔軟に他者の意見を聞きながら、教育について考え続けたいと意欲が湧いた。【特支/3年/女】
- 教育とは何かについて考え、改めて自分はどのようにして教員になりたいのか、何のために教員になるのかを考えることができた。【中・高国語/3年/女】

●今後の方向性・進路の明確化

- 自分の捉え方や進学への考え方が大きく変化した。【小学校/1年/女】
- 将来についてより明確に想像できるようになり、わくわくが高まった。【小学校/2年/女】
- 未来展望がより明瞭になり教採対策に熱を入れるきっかけとなった。【小学校/2年/女】
- これからのように学んでいくと良いのかを考える機会が生まれたこと【小学校/3年/女】
- 自分の将来について具体的な話やアドバイスを聞いた点。【中・高国語/3年/女】

●自らの進化・強みへの気づき

- 自分がどんどん交流に積極的になっている。【小学校/4年/女】
- 自分自身の意見を積極的に述べ、話し合いに参加することができた。【小学校/4年/女】
- 自分の強みが何か明確になったことです。【小学校/院1年/女】
- コミュニケーション能力が身につく、自分の意見をはっきり伝えられた。【小学校/院1年/女】
- 自分のよいところと改善したいところを教員になる前に知ることができたこと。【特支/4年/女】

●新しい知見・実践的アイデアや手法の習得

- インクルーシブ教育に関して実態や必要性を深く学ぶことができました。【小学校/2年/女】
- これまでずっと苦手意識を持っていた「アイデア出し」に対する考え方が変わりました。アイデアと企画を分けて考えるということ今回学びました。【小学校/3年/男】
- 授業づくりや子どもとのコミュニケーションに活かせるファシリテーションのスキルを得たこと。【小学校/3年/女】
- 振り返りの方法を学ぶことができたこと【小学校/4年/女】
- 「ことば」に触れる機会をより楽しく身近に学べる1つの方法が川柳だと思いました。【小学校/4年/女】
- 子ども同士の話し合いを活性化するための工夫をたくさん学べたこと。【小学校/4年/女】
- 実践で使える知識や手法を学ぶことが出来たこと。「リフレクションの大切さ」「子どもの意見を引き出す工夫」など、現場で使えるスキルを沢山知ることが出来た。【小学校/院2年/女】

●同じ志を持つ仲間との出会い・交流

- 仲間との深いつながり。同じ志を持つ人と真面目にディスカッションすることは大学院にいる今なかなかすることができない。哲学的な問いに対していい意味で馬鹿真面目に議論し合える仲間と出会えたことは財産である。【小学校/院1年/男】
- 本当の意味で「仲間がいる」という安心感を得ることができたこと。【中・高国語/4年/男】
- 「教育」について考える時間になるとそれぞれの熱い思いを語っていて、このように熱意を持って頑張ろうと思って教壇に立とうとしている同期が全国にいるのだということを知ることができて、また、そのような人たちと仲間になることができて、すごく心強かった。【中・高国語/4年/女】

地域ブロック別近況報告会

近況報告会は、地域での情報共有や助け合い、この先も続くネットワークづくりなどを目的とし、実施しております。大阪会場、東京会場の2つの会場に分かれて近況報告会を行いました。

【大阪会場】

- ・対象ブロック:九州ブロック、中四国ブロック、京都奈良ブロック、大阪兵庫ブロック、中部ブロック
- ・実施日: 2025年11月16日
- ・参加者: 現役奨学生_92名 修了生_16名
- ・内容: 奨学生による校種別模擬授業(小学校・特別支援学校・中学校高等学校国語科) / グループ共有
地域ブロック別交流

【東京会場】

- ・対象ブロック:北海道・東北ブロック、甲信越ブロック、新宿ブロック、品川ブロック、渋谷ブロック、西日本(一部)
- ・実施日: 2025年11月23日
- ・参加者: 現役奨学生_106名 修了生_14名
- ・内容: 奨学生による校種別模擬授業(小学校・特別支援学校・中学校高等学校国語科) / グループ共有
地域ブロック別交流



オンラインでの活動

今年度は対面の研修や交流会に加えて、オンラインでも奨学生および修了生の交流の機会を設けました。

◆ オンラインセミナー「大学院での学び」 ◆ オンライン座談会「修了生の先輩方に聞いてみよう！」

【実施】2025年6月15日(日)

【プログラム概要】

- ・登壇者の発表
- ・テーマに沿って質疑応答 等

小学校教員編

【実施】2025年8月24日(日)

【プログラム概要】

- ・学級経営
- ・キャリア、ライフプラン
- ・個別に質疑応答 等

中高国語科教員編

【実施】2026年1月11日(日)

【プログラム概要】

- ・中学校、高等学校ならではの授業実践の紹介
- ・個別に質疑応答 等

海外短期留学支援制度

【目的】

将来優れた教員になるために役立つと思われる海外短期留学や、海外研修の参加等により、奨学生自身が目指す教員像や実現したい学びにつながる経験を得られるよう支援します。

【当支援制度を活用した留学実績】 ※2026年3月時点

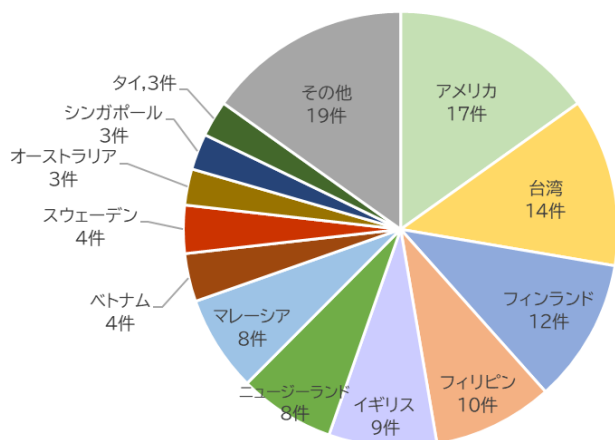
◆ 2025年度実績 制度利用件数：29件

◆ 制度開始からの累積利用件数：114件

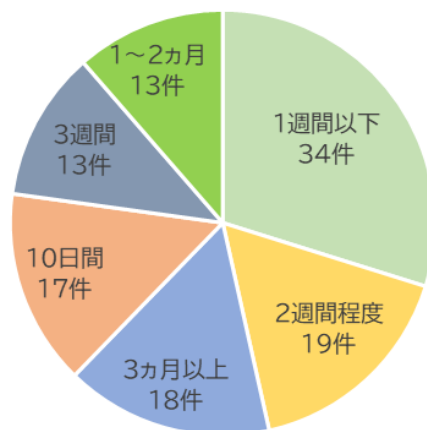
2018年度：8件、2019年度：17件、2020年度：0件、2021年度：1件、2022年度：10件
2023年度：23件、2024年度：26件、2025年度：29件

【これまでの留学先・期間】

● 留学先



● 留学期間



【目的】

奨学生及び修了生の交流促進の一環として、活動や近況を紹介するWEBマガジンを、奨学生、修了生、大学担当者様へ配信します。



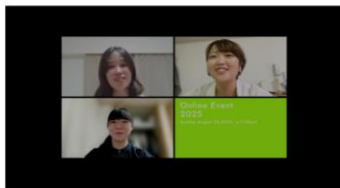
トピックス

▼2025年度に配信したWEBマガジンの内容

- ・ 新入奨学生紹介
- ・ ボランティア体験レポート (大学のボランティアサークル)
- ・ 修了生のことば
- ・ オンライン座談会レポート2回
- ・ 教員となった修了生の近況レポート 全15回



オンライン座談会「修了生の先輩方に聞いてみよう！」
中高国語科教員編



オンライン座談会「修了生の先輩方に聞いてみよう！」
小学校教員編



ボランティア体験レポート 第2回
(大学のボランティアサークル)



ボランティア体験レポート 第1回
(多様性)



海外短期留学レポート
語学留学編